

算命学中庸

【初年】 14回目

14回目の授業はこのページからです。

授業科目 【五行と本能】

【初年】 14回目【五行と本能】 01

ごぎょう ごほんのう
五行と五本能は、それぞれがあ は当て嵌まります。

木 守備本能

火 伝達本能

土 魅力本能

金 攻撃本能

水 習得本能

五行〔木火土金水〕の順番に、本能を並べると、お互いの関係が見えてきます。

なぜ木性が守備本能なのか、なぜ土性が魅力本能なのか……これについては、さらに勉強が進んでから学びます。

そうしますと、本能と五行をつかって、さまざまな占いに発展して行くようになります。

本能も（木火土金水）が決まっていますから、本能のなかにおいても、相生・相剋の関係が発生します。

その関係をつかいますと、生年月日を干支に変換しなくても、簡単な性格判断ができます。

宿命（1）

〔たとえば〕

	木	守備本能	守備本能は木性ですから、
	火	伝達本能	（木→×土）と相剋で、土性を
	土	魅力本能	やっつけます。
	金	攻撃本能	つまり、守備本能が魅力本能を
	水	習得本能	剋します。

やっつけるという意味は ⇒ 木性は土中に根っこを張って、

根っこが土のなかの養分や水分を奪う。と考えていますから、木性が土性をいじめるような相剋関係です。

本能でいえば、守備本能が魅力本能を剋^{こく}します。

守備本能をものすごく強く発揮している人物がいるとすれば、その人は「自分を守ろう、守ろう」ということばかりに一生懸命になっている姿でもあるわけです。

〔たとえば〕その人物をⒶさんと仮定します。

Ⓐさんは、自分のことだけ、自分の立場だけを、守ろう、守ろう、ということばかりをやっていて、何か失敗するといいわけをする。というふうに、自分を守ることにはチカラ（エネルギー）をうんと発揮します。

そのような人は、木性（守備本能）を強くだし過ぎているわけです。

Ⓐさんは、守備本能から魅力本能が（木→×土）と剋されて（傷めつけられて）、魅力本能をダメにしてしまう。というふうに占ってよいのです。

木性のチカラが強くなると（木→×土）と、自動的に土性は剋されてしまい、魅力本能を発揮できなくなります。

そうなってしまおうと、人から好かれることも、人からよく思われることもなくなってきますよ。といえます。

魅力本能は働かず、その人の魅力は失われて、他人から嫌われますよ。ということにもなるわけです。

⇒ あるいは「魅力を発揮しよう」「魅力をだそう」と、することばかりに、一生懸命になる人がいたとします。

③さんは、自分の魅力を発揮して人から好かれないとか、人から良く思われたい。という気持ちが強すぎる人です。そういう人物は、魅力本能に（土→×水）と習得本能が剋かれてダメになります。

宿命（2）

木	守備本能	
火	伝達本能	
土	魅力本能	こんどは、（土→×水）と
× 金	攻撃本能	習得本能が剋かれて、ダメに
水	習得本能	なります。

端的に言えば「人から好かれて良く思われたい」という

ようなことばかりやっている人物がいたとすれば、その人の習得本能は剋されて、頭の回転が悪くなりますよ。というふうに占ってよいのです。

習得本能は知識を習得しようとする本能ですから、それがダメになるということは、頭の回転が鈍くなります。知恵が円滑に働かなくなります。

このことは、どなたにも多少いえるでしょう。

人間は、少しでも相手から良く思われたい、好かれたい、とする気持ちが強くなり過ぎると、知恵が円滑に働かなくなってしまう。魅力本能に習得本能が剋されるからです。

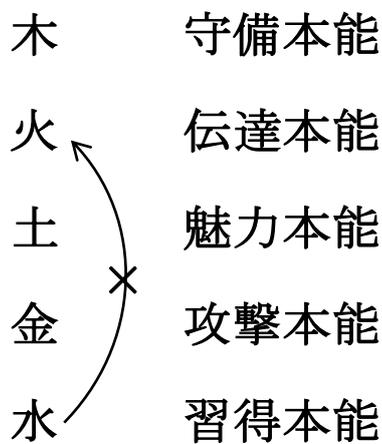
どなたでも、人から好かれたいとか、よく思われたいという気持ちが、強くなり過ぎてしまうと、周囲の眼が気になってきます。まわりの人が自分をどのように見ているのかを意識するようになります。

〔あの人って私のことをどう思っているのかしら……〕

〔この人からも好かれなくちゃ〕とか、そのようなことばかり気にしていると、知恵がまわらなくなると、頭の働きが円滑にまわらなくなります。

もともと、頭のよい人でも、知恵のうごきが、自転車の
 錆びたチェーンのようになって、^{きし}軋んでくるのです。
 いかがでしょう——おわかりになりますか……。

宿命 (3)



こんどは、習得本能です。

習得本能は知恵の星です。知りたい、学びたい、そういう気持ち
 がとても強い人は、(水→×火) と伝達本能が剋されますので、
 勉強のし過ぎは、伝達がダメになります。

〔たとえば〕学者とか、大学教授とかで勉学に携^{たずさ}わって
 いる職業の人のなかには、なにをしゃべっているのか、
 よくわからない人、結構いらっしゃるかと思えます。
 つまり、伝達が円滑に働かない人になりやすいのです。
 あるいは、無口な人になったりとかします。
 子供でも、ガリ勉タイプの子は、だんだんと無口な人物

になって行く傾向があるといえるでしょう。

逆に、伝達ばかり出している人、つまりとてもおしゃべりな人、あるいは、口が軽いとか、なんでもぺらぺらしゃべっちゃう人がいたとすれば、それは（火剋金）です。

宿命（4）

	木	守備本能
	火	伝達本能
*	土	魅力本能
	金	攻撃本能
	水	習得本能

（火→×金）と攻撃本能が剋されます。

口だけで、行動力が伴わない人になりやすいのです。

攻撃は行動の本能でもあるのです。

☞ 最後は——攻撃本能です。

相手を攻撃しようと、そのことばかりに、エネルギーをつかっている人がいたとすれば、金性を強く出しすぎています。

宿命（5）

木	守備本能	（火→×金）と木性の守備本能が 剋されて、守りが弱くなります。
火	伝達本能	
土	魅力本能	
金	攻撃本能	
水	習得本能	

ひと
他人のことを攻撃ばかりしている人物というのは、逆に自分を守るのが下手な人です。守りがもろくなります。

ご説明しましたように、本能にも五行があるわけです。それゆえ、相生関係・相剋関係などを応用した性格判断の観方につながっていくようになります。

より具体的な内容や説明については、もう少し先になりますが、順を追って学ぶこととなります。

そうしますと、五つの本能を占いで用いたときにですが、仮に——「Aさんの場合には、この本能をつかうと運勢が上がりますが、この本能をつかい過ぎると、運勢は下がってしまいますよ」とか、そういう占いに発展していくこともあります。

☞ 自分の宿命に照らし合わせて考えたときに……、自分は「この本能を特に強く発揮する必要がある」とかそういう本能があったりするのです。

逆に「この本能を強く出しすぎてしまうと、運勢が悪くなるから、ほどほどにつかわなくてはいけない」とかの本能もあります。

人によって、さまざまな本能が宿命に書かれています。いづれにしても、その人の宿命に沿うようにバランスを取る必要があるのです。本能は宿命に沿うように適切に消化しないとイケない。ということです。

☞ 算命学でいうところの消化という意味は、私たちは食物を摂取して歯で噛み砕くと、胃に運ばれて分解・消化消化されて、小腸や大腸で栄養や水分が吸収されます。

さまざまな動植物の生命体の犠牲によって、私たち人間の細胞組織が活性し、健康を維持することができます。宿命の消化、星の消化というのは、それとおなじことなのです。

〔私たちの生命を維持するために、犠牲になってくれた動植物に、感謝の思いを抱いてほしいのです。その心の念は個人の靈性を高めます。私たちは当たり前前の慣れっこになっていますが、犠牲というのは当たり前前ではないのです。中庸学・中庸のころ〕

宿命に出ている本能をバランスよく消化することです。人生の目的・適性などは、陽占〔人体図〕に書かれています。人体図の星を消化することです。それによって宿命そのものが活性化し、究極には個々の役目を果たすことにつながっていくのです。

〔たとえば〕陰占から、陽占という人体図の星におきかえて、つまり十大主星におきかえて、さまざまに観ていきますが、人体図には五本能の星のどれかが載ります。五行〔木火土金水〕のなかで、金性の十大主星は車騎星と牽牛星の2星です。車騎星は陽の星、牽牛星は陰の星です。

五行の木性を十大主星に置き換えると、貫索星かんさくせいと石門星せきもんせいになり、貫索星は陽の星、石門星は陰の星、というように、五行の一つ、一つに陽の星と陰の星があるわけです。

五徳ごとく〔福ふく 寿じゅ 禄ろく 官かん 印いん〕を五行でいえば——〔福は木性〕〔寿は火性〕〔禄は土性〕〔官は金性〕〔印は水性〕です。このように、五徳を五行に置き換えることもできます。

人体図（星は5つしか載りません）に、行動の星〔車騎星〕〔牽牛星〕の2つ載っていても、5しか載らないのに、攻撃の星だけで、2つの場所を陣取ったわけです。端的に言えば、その人体図の人は攻撃本能2つ分の力を発揮しなくてはならないわけです。人体図にはそう書かれています。

現在の段階いまにおいては、理解が難しいかも知れませんが、勉強が進むにつれてご理解できます。

☞ 人体図に載る星は5星、その2つを知恵の星が占有していたとすれば、知恵を人一倍、磨きなさいということ

にもなるのです。

習得本能・知恵の星は〔龍高星・玉堂星〕です。

銀行に預貯金口座を2つもっていると仮定すれば、その2つに口座を満たすほどに知恵を磨きなさい。知恵を蓄えなさいということです。

簡単なことではありません——でも人体図にはそのように書かれているわけです。

ここでは、五行と五本能の関連についてご説明しました。これらの本能の意味合いを、一通りわかっていただければ大丈夫です。

【初年】 14回目【五行と本能】 **終わります**

つぎの授業 ⇒ 【初年】15回目【宿命の出し方】